

令和7年度 高等部経営案

学校教育目標

一人一人の能力を最大限に伸ばし、自立と社会参加に向けて、より豊かに生きる児童生徒を育成する。

校訓

明るく 仲良く たくましく

学校経営の重点

- 学ぶ意欲と自己肯定感を高める教育活動の展開
- 表現力及び体力の向上
- 安全で安心な学校づくり
- 家庭・地域と連携強化
- お互い認め合い、高め合う教職員集団の実現
- 業務改善の推進と組織の活性化

高等部の教育目標

社会の一員として豊かに生きて行くために、実態に応じて

- 社会の中で、主体的に暮らしていこうとする態度を育てる。
- 生活自立、職業自立を確立する。
- 集団の中で仲間と関わりながら生き生きと活動する実践的な態度を育てる。
- 目標に向かって挑戦し、最後まであきらめずにやりぬく力を育てる。

高等部の教育方針

- 人権尊重を教育の基盤とし、生徒と教師の信頼関係や生徒相互の豊かな人間関係を築く。
- 的確な実態把握を行い、個々の教育的なニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。
- 学校内、家庭、地域、外部機関との連携を密にし、指導及び支援の充実を図る。
- 地域・社会とつながり、地域・社会へ発信することにより、生徒の様々な表現力、自主性、自己肯定感を構築する。

本年度の努力点

- 自ら考え、物事に主体的に取り組み、目標に向かって努力する生徒を育む。
【思考力】【主体性】
- 卒業後の生活をイメージし、社会の中で必要とされる基本行動の確立を目指す。
【基本的生活習慣】【ルールやマナーの確立】
- 周囲の人と共に活動することを通し、コミュニケーション能力や自己表現力の向上を図る。
【表現活動の充実】【自己肯定感】
- 生徒の心身の健康や体力の増進、余暇活動の充実を図り、健康で明るい生活を送る力を育てる。
【健康増進】【余暇活動の充実】
- 働くために必要な知識や技能を身に付け、自らの役割に責任を持ち、働く意欲や将来への希望を持つ生徒を育てる。
【働く意欲】【責任感】
- 学習活動や情報共有場面で効果的に ICT を活用する。
- 体験活動や地域の中での活動を積極的に取り入れる。
- 日々の安全点検や、生徒の観察や面談等を丁寧に行い、諸問題の未然防止に努める。